ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成24年 No.244 4月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

空中分解寸前の野田政権
意思統一できない民主党

一刻も早い退陣を求める

衆参予算委員会で自民党はじめ野党議員の集中砲火を浴びている田中防衛大臣。元々防衛問題に精通しているわけではない素人大臣。それにしても答弁はおそまつの限りである。中国の異常な軍事力増強、北朝鮮によるミサイル発射実験など日本を取り巻く厳しい安全保障環境の中で、この大臣で、日本の安全は大丈夫なのかと、国民から心配の声が挙がるのも当然である。任命権者である野田首相の責任は非常に大きい。さらに核開発疑惑で制裁中のイランに民主党の外交最高顧問である鳩山前首相が政府、民主党の反対を押し切って訪問した。まさに二元外交であり、まんまとイランに利用された。民主党政権が誕生して2年半、沖縄普天間基地を巡る混乱、マニフェストの破綻、原発の収拾の不手際、がれき処理の遅れ、消費税増税、相次ぐ大臣の不祥事、加えて小沢一郎派の造反、まさに満身創痍、脳死状態の野田政権である。日本のために一刻も早い退陣を願いたい。

4月11日の党首討論で野田首相に解散総選挙を迫る谷垣総裁

恒心

★政界も中央、地方を含め世襲議員が増えてきた。世襲と言っても選挙で有権者の審判を仰ぐという壁がある。会社では息子や親族が後を継ぐのは当たり前のようになっているが、今日の厳しい経済競争を生き延びるには、身内といえども能力のない者に会社のトップの地位を引き渡すわけにはいかない。★国家の場合、他国からの侵略を防ぎ、国民の生命、財産を守るという使命と重い責任がある。当然、指導者はしっかりした人間を選ばなければならない。北朝鮮の指導者となった金正恩氏は弱冠29才の若さである。いくら優れた人間であったとしても未熟で経験不足の感は否めない★3代続けて世襲によって、国家の最高指導者を選ぶ北朝鮮とは一体どんな国なのか。祖父、父の時代からずっと権力側にいた既得権力層は、急激な変化がなく、従来の路線を継承する人が最も望ましい。何でも聞く操り人形が一番ふさわしい指導者なのではないか。★それでも国民、あるいは世界に向かってはそれなりに強い、権威のある指導者としての姿を見せなければならない。党、軍、統治機構の最高の地位に就け、正恩氏が権力を完全に継承して、強い指導者になったと披露する最大のイベントが人工衛星と称するミサイル実験であったのであろう。★日米韓はじめ多くの国の自制を求める声を無視し、衛星実験はどの国にも権利があると主張した。実験には余程自信があったのか、世界の報道陣にミサイルの模様を公開する余裕も見せていたが、13日に強行した実験はものの見事に失敗した★国民の多くが食糧難に喘ぎ、餓死寸前の状態であるのに、ミサイル実験とは一体何事かと言いたい。今回の実験費用は8億5千万ドル(約680億円)、トウモロコシ250万トンが購入出来る金額である。我国にとって極めて危険な存在である北朝鮮に、甘い顔を見せることなく、更に一層厳しい制裁措置を取る必要がある。

二ノ湯議員、2委員会で質問
消費者特別委、経済産業委

波乱含みの通常国会がスタートして、2ヶ月余りが経過した。予算委員会は新年度の国家予算審議で頻繁に開かれていたが、他の常任、特別委員会も3月下旬から審議が始まった。二ノ湯議員の常任委員会は経済産業、特別委員会は消費者問題に所属している。先日開かれた両委員会で二ノ湯委員は自民党を代表して質問に立った。紙面の都合で経済産業委員会の会議録しか掲載できないが、2つの委員会での質問の要旨は次の通りである。

★消費者問題特別委員会（3月23日）

○消費者庁の本来業務○個人情報保護法の見直しとあり方○個人情報の流出問題○消費期限と賞味期限○食品の大量放棄○BSテレビの過度なコマーシャル○消費者教育と啓発○生活弱者の施策○国民生活センターの充実強化

★経済産業委員会（3月28日）

○原発事故の責任の所在○原発事故の検証○中長期的なエネルギー政策○電気事業制度の改革○夏の電力不足への対策○脱原発と環境問題○東京電力に対する支援策○原子力発電所の再稼動○再稼動に際し原発立地県と隣接する府県の同意○原発停止による地域の雇用

経済産業委員会で
エネルギー政策について質問

平成24年3月28日　経済産業委員会

○「二之湯智君」

政府は、東京電力に対して原発事故の責任を過度に押し付けているのではないか。政府による事故調査委員会の中間報告において、シビアアクシデント（深刻な事態）に対する備え、官邸の情報収集が不十分であったこと、また民間事故調の報告書では、官邸の介入が現場に無用の混乱を招いたとも指摘されております。最高指揮官である総理が現場を混乱させておいて、東電ばかりが責められる現状を大臣はどのように認識されているか。

○国務大臣（枝野幸男君）

原子力発電所事故発生以降の対応について、私自身も、情報の集約という観点で大変不十分であったというふうに反省もしております。御指摘いただきましたとおり、政府の事故調等においても事故後の政府の対応について様々な御指摘をいただいているところでございまして、この事故の反省と教訓を踏まえて進めていかなければならないというふうに思っております。

○「二之湯智君」

事故以降、エネルギー政策の見直し、特に脱原発が叫ばれております。国民の感情からして当然だと思いますが、既存の火力発電及び水力発電だけで原発の電力量を補うことができるのかどうか、考えてみなければならない。太陽光を始め、色々な新エネルギーが救世主のように言われておりますが、現在総発電量のたった1％です。新エネルギーということで国民に幻想を抱かすことはどうかなと思います。国民に日本の電力事情を率直に述べることがぜひ必要です。今後の電力供給については、安全性を確保した上で、一定限度原発に依存せざるを得ないと思いますが。

○大臣政務官（北神圭朗君）

エネルギー政策については、今回の原発事故の教訓、震災で顕在化した問題を踏まえて、白紙から議論しています。原発に対する依存度を最大限引き下げていくと同時に、省エネ、節電の抜本的強化が大事です。もう一つは、再生可能エネルギーを最大限加速化していくことも、重要だと思っています。

○「二之湯智君」

もうすぐ夏が来ますが、電力の供給は喫緊の課題です。大臣は、今年の夏に予想される電力不足について、昨年夏に発動したような電力使用制限令の方法は何とか避けたい、避けられる可能性はあると、自信を持って言われた。九電力会社から平成24年度の電力供給計画を経済産業省の方に出されているが、恐らく厳しい供給計画だと思います。具体的な需給対策について4月末から5月上旬に提示される予定であるが、使用制限令に頼らない、発動しないというのであれば、どのような対策を考えておられるのか。

○国務大臣（枝野幸男君）

現時点で制限令を出さないと公言できる状況ではありません。一方で、節電についても様々なやり方を提示をする中で、何とか乗り切れないだろうかと、今、電力会社、資源エネルギー庁においても最大限の努力をしているところです。使用制限令は出したくないし、最大限頑張るということで申し上げております。ただいずれにしてもユーザーの皆さんには、かなりの節電のお願いをしなければならない。

○「二之湯智君」

大臣は、原発の再稼働については、地元の皆さんを始めとして、国民の一定の御理解が得られるかどうかについて政治判断を行うと答弁されている。関西電力は大飯の方でストレステストは終え、原子力安全委員会も一定の評価をした。大臣は地元に入られて西川知事以下関係者の皆さんに再稼働についての御理解を得るために行動を起こすというが、事故以

降、事故の対策をめぐってごたごたし、政治不信が高まっている中で、地元が再稼働に応じてくれるかどうか、大変難しい問題があると思いますが。

○国務大臣(枝野幸男君)

福井県にお願いに行くことが決まっているかのように報道されているんですが、現時点で決めておりません。専門家ではない私を含めた4閣僚も、なるほどこういうふうに専門家がチェックをしたんだから大丈夫だと思えなければお願いしますと言えないわけで、今、私自身も保安院や安全委員会の報告書等を熟読をしているところでございます。それを4人の閣僚、総理、大変忙しい中でもしっかり読んでいただこうと思っております。その上で初めて、福井を始めとして、地元の皆さん始め、国民に再稼働を提起できるかどうか判断したいと思っております。

○「二之湯智君」

再稼働の問題については、立地県、立地市町だけでなく、立地に近い府県も非常に関心が高い。京都府、滋賀県が放射能については非常に重要な関心を示している。立地県並みの安全協定を関西電力と結ぶべきだと、求めています。その点についてどのようなお考えを持っておられるか。

○国務大臣(枝野幸男君)

再稼働については、あくまでも私が申し上げているのは、地元の皆さんを始めとする国民の一定の御理解をいただく必要があるということでございます。地元中の地元である福井県あるいは大飯町等にはしっかりと御説明と御理解をいただくことが必要だと思っております。同時に、滋賀県と京都府からは保安院の一次評価に対する確認事項について説明を求められておりますので、担当者、専門家を派遣をすることを決めており、当然真摯に対応したいと思っております。

○「二之湯智君」

全国に54機ある原子力発電所が全て止まりますと、そこで直接働いている人々、原子力発電所に仕事を依存している地元の業者に深刻な影響を与えると思います。原子力発電所があるところは、過疎地域で、働く場所がない。若い人が唯一働く場所はそこだとなりますと、もし全て廃炉になると、廃村につながってしまうんではないか。原発廃止と地域の産業の振興、深刻な雇用問題をどのようにお考えになっているか。

○大臣政務官(北神圭朗君)

運転停止が続けば雇用にも、立地地域にも相当な経済的な影響を与えてしまうということはもう十分我々としても認識をしています。再稼働するかどうか別にして、これまで、我々の政権もそうですし、その前からずっと国策である原子力政策に地元の皆さんが協力をしていただいた、この方々の思いというものは非常に重たい、そういった姿勢で臨みたいと思っています。

新名神凍結区間解除　大津～城陽　八幡～高槻間着工へ

新名神高速道路は首都圏と関西経済圏を結ぶ大動脈で、三重県四日市市と神戸市との幹線自動車道である。ところが、2003年、「国土開発幹線自動車道建設会議」で、委員であった猪瀬直樹東京都副知事が凍結を強く主張、大津～城陽、八幡～高槻間の2区間が当面着工しないとされ、「第2京阪道路が開通した交通状況を見て検証する」となった。関西の事情が解らない東京の人が建設を止め、山田京都府知事などは非常に悔しい思いをした。第2京阪道路は2011年3月に開通した。第2京阪が完成後、大阪～京都間は非常に便利になった。そして大山崎～吹田間は渋滞が減ったが、名神高速道路の草津～瀬田東間の交通量が増え、渋滞が慢性的になった。従って見直し区間の凍結解除は関係自治体にとって緊急の課題であった。この2区間の建設費は約6800億円であるが、税金に頼らず利用者の料金で賄うことになっており、国の負担にはならない。4月1日、京田辺市で、京都府、大阪府、滋賀県知事、沿線の自治体のトップ、超党派の衆参国会議員が参加して、「全線開通を求める会議」が開かれた。会合には前田武志国土交通大臣も出席した。参加者は短い時間であったが、各人が前田大臣に建設促進を訴えた。二ノ湯参議院議員は「第2名神は第2国土軸であり、国家の危機管理の上から考えても急いで建設しなければならない。そんな重要な道路を、作って下さいとお願いするのは筋違い。国としてどうしても必要な道路だから、地元の皆さんぜひ協力してくださいと、頼むのが本来ではないか」と発言した。参加者の発言の後、奈良出身で関西の事情に詳しい前田大臣は「参加者の発言を重く受け止めたい。私もこの道路の重要性はよく認識している。事務方に指示をして、今月中に着工の手続きをする」と語った。大臣の決断一つで、凍結が解除され、建設促進に向うことが決定された。なぜ歴代の国交大臣がこの道路の重要性を理解できなかったかと残念に思う。近畿圏は10年近い無駄な時間を過ごし、多額の経済的損失を蒙った。2つの区間が完成し、開通するまでには約10年の期間を要する。

前田国交大臣に新名神の重要性を訴える二ノ湯議員

郵政法案を巡って自民内で論争
衆議院本会議で可決

小泉純一郎元首相がまさに政治生命を賭けて実施した郵政改革。あの当時、正直なところ、国民は郵政改革の中身も十分に理解せずに、小泉元首相の「改革なくして、発展なし・官から民へ」というキャッチフレーズにあおられ前々回（平成17年９月）の総選挙において、大きな支持を与えた。郵政民営化に反対した人は、自民党を除名され、多くの人が落選した。二ノ湯参議院議員も民営化に反対し、参議院の本会議では反対票を投じた。そのために１年間の役職停止処分となった。民営化後７年が経過したが、郵便事業会社が赤字を計上するなど郵政各社の業績が悪化していることは事実であり、しかも郵便局会社において、約束であったワンストップ化やコンビニ化が進展していない。利用者からも不便になったと、評判も良くない。郵政民営化法案には３年ごとの見直し規定があり、郵政各社の業務提携や郵貯、簡保のユニバーサルサービスなどについて問題点が指摘されており、見直しを行うことも必要である。しかし自民党内には小泉元首相が掲げた改革の精神を絶対に忘れてはならない。郵政事業が停滞しているのは民営化が徹底していないからだと主張する議員も多い。激しい党内論議の末、郵便事業会社と郵便局会社を統合し、新しく日本郵便会社を作り、政府は常時⅓以上保有する日本郵政㈱を通じ、日本郵便はじめゆうちょ銀行、かんぽ生命保険の金融２社にも影響力を持つ改正案をまとめた。４月12日の衆議院本会議での採決で、自民党から多くの造反議員が出るかもしれないと心配されたが、３人の反対、１人欠席だけで終わった。次の舞台は参議院である。

「日本真生塾」 第19回・第20回例会のお知らせ

平成24年4月23日(月)　18時～21時

平成24年5月28日(月)　18時～21時

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

<お問い合わせは事務局へ>（担当：近藤）
TEL：050−7544−4018　メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp

内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000−4−62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

身辺雑記

一、東北復興には大量のガレキの処分を急がねばならない。総論賛成、各論反対の中で、京都ではいち早く舞鶴市が受け入れを表明した。医者で行政、政治経験のない多々見市長。先頭に立って反対住民を説得されている。市長の勇気に拍手を送りたい。

一、源氏物語千年紀を記念して「古典の日」を制定しようという動きが、京都から起こった。先日、超党派の推進議員連盟総会が開かれた。書道を愛する女優佐久間良子さんもゲストとして出席されていたが、美しさに見惚れた。

一、原発の風評被害も関西にまで及んでいるようだ。我が家がお世話になっている米屋さんがいい米が入りにくくなっていると家内に話していたそうだ。消費者が東日本産の米を敬遠して、偏った産地米の消費が増えているらしい。

一、福井県大飯町にある関西電力の原発再稼動に向けて、枝野経済産業大臣が、現地に入った。当初現地に入る予定はない、福井県だけでなく、隣の京都府、滋賀県の理解も必要だと調子のいいことを言っていた。一転お願いの行脚。口の軽さが災いとなる。

一、花見客で賑わっていた四条大和大路交差点。軽自動車が猛スピードで、横断歩道を渡っていた人達を跳ね、７人を死亡させた。運転手はてんかんの持病があるようだが、それが原因かどうかわからない。突然降って湧いた災難で犠牲になられた方々は本当にお気の毒である。

二ノ湯しんじを囲んでの温泉旅行
『伊豆稲取温泉と箱根』の旅
ご案内

◆日　　時　**平成24年6月23日㈯～24日㈰**
◆参 加 費　お一人様 *33,000*円
◆コース概要（予定）
27日：京都→浄蓮の滝→稲取温泉（銀水荘泊）
28日：稲取温泉→箱根関所跡（芦ノ湖遊覧船）→湖尻→京都

二ノ湯さとし後援会の皆様も是非ご参加ください

参議院議員　**二ノ湯さとし事務所**　TEL(075)315-2228　FAX(075)315-2310

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228